

鹿島 昌也 (埋蔵文化財センター 専門学芸員)

坂田 志穂 (同 学芸員)

はじめに

越中丸山焼は、富山市八尾町丸山地内に位置する江戸後期の陶磁器窯で生産された。窯は文政 12 (1829) 年あるいは天保元 (1830) 年に甚左衛門によって開窯され、明治 27 (1894) 年頃まで約 65 年間操業していた。昭和 36 年には「越中丸山焼陶窯跡」として、八尾町指定文化財 (史跡) 第 1 号に指定され、平成 17 (2005) 年の市町村合併後は富山市指定文化財となっているが、窯跡の発掘調査は実施されておらず、その実態は不明な点が多い。

一方で越中丸山焼とされる製品の伝世品も多く、昭和 50 年 3 月に富山市立郷土博物館 (現・富山市郷土博物館) で同館および越中丸山焼研究同好会主催による「越中丸山焼」展が開催され、119 点の越中丸山焼が出品された。旧八尾町所蔵資料の中に、越中丸山焼研究同好会 (昭和 46 年発足・同 60 年頃散会) によって作成された「越中丸山焼について」と題した資料が綴られていた。郷土博物館の展示会後の昭和 50 年 5 月に作成され、見込印・高台印・窯印・文様を模写した表が添付されている。中には、出土品などに付された印や文様と共通するものがみられた。資料はコピーでやや不鮮明なことから、この模写の内、銘印や窯印を中心にデータ化して紹介することで、今後の越中丸山焼の調査・研究の参考としたい。

1 越中丸山焼の概要

越中丸山焼は、当初は陶器のみの焼成で九谷・清水に倣った日常雑器を製作し、後に有田・平戸などから原料を取り寄せて九谷や伊万里に倣った磁器も生産、その完成は嘉永年間以降とされる。磁器の原材料の陶石は岐阜県飛騨の渋草から取り寄せていたことを示す文書もある。陶土については、越中丸山焼窯跡の南東 1km には中世期に生産された八尾焼を焼成した京ヶ峰窯跡群が所在し、近隣で陶土となる粘土が採取できる環境下にあったことがうかがえる。陶工や絵付師には尾張出身者が多く、有田や九谷から招かれた者もいたようである。

窯場は、富山藩 10 代藩主前田利保の援助を受け、最盛期には四間一尺に十一間の製造場と八間半に十六間の窯場に十三個の竈 (十三房の連房式登窯か) が並んでいた。天保 8 (1837) 年には「他国唐津物差止め井田村丸山焼使用申渡書」の御触れが出され丸山焼の国産を奨励したが、安政 5 年の大地震で被害を受け、明治維新を経て藩の庇護を失い次第に衰退した。

平成 6 (1994) 年の県埋蔵文化財センターによる試掘調査で、窯の物原 (失敗品の廃棄場) が検出された。同 29 年には、窯跡から約 70m 北東で富山市教育委員会による発掘調査が実施され、越中丸山焼の素焼品や窯道具が出土し、陶磁器生産に伴う作業場の広がりを確認した。

近年の市内における発掘調査で、近世～近代陶磁器の中に越中丸山焼とみられる製品が一定量含まれていることが判明している。その流通は、県西部の高岡市江尻遺跡や小矢部市五社遺跡にもみられ、金沢市本町 1 丁目遺跡でも越中丸山系とされる陶器の出土報告がある。

2 銘印・窯印・文様について

盃・猪口・皿・湯呑など 21 種に分類された器種毎に印・文様が紹介されている。器種の名称は、当時の資料そのまま用いた。見込や高台に付される窯印には福・禄・寿など九谷や瀬戸などに付される印に類似するものもみられ、陶工の行き来があったことを物語る。文様は

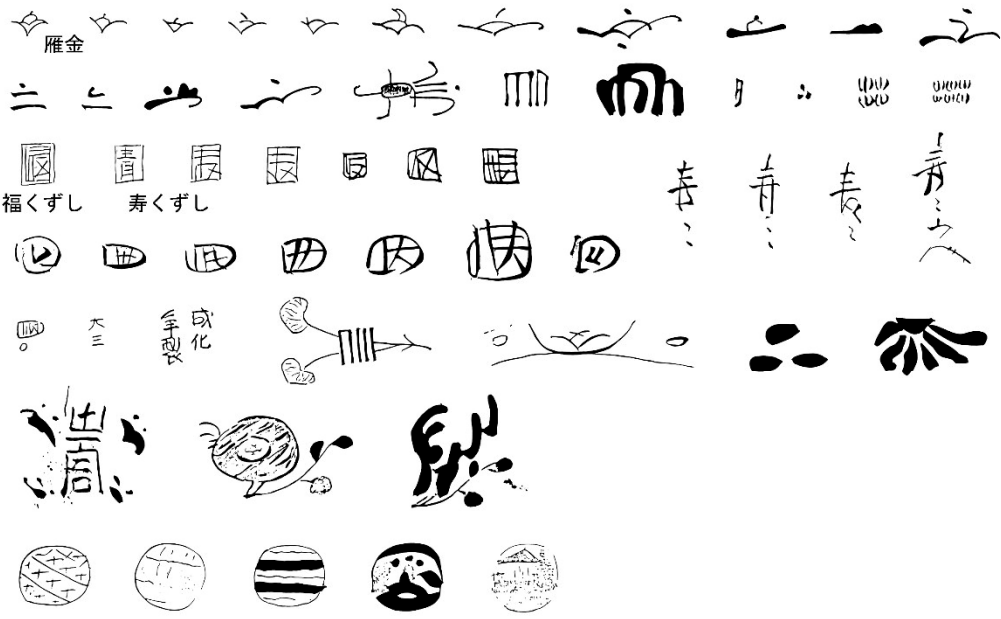
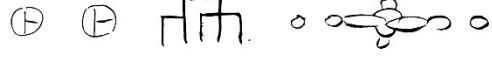
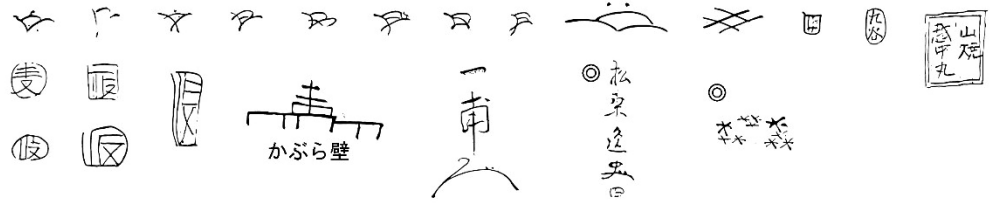
仏花器	
仏湯呑	
盃	
盃置台 (盃台)	
盃洗	
徳利 (◎印は丸山と 九谷の合作)	
猪口	
香炉	

図 1 越中丸山焼の銘印・窯印・文様 (1)

(※資料に枠線は示されていない)

草花や太陽、雲など自然界の風物をモチーフにし、図案化したものがほとんどである。色絵には、今回紹介はできなかったが、絵付師による花鳥や人物、動物などをモチーフにしたものもみられる。上手のものには、赤絵、五彩、金欄手によるものもみられる。

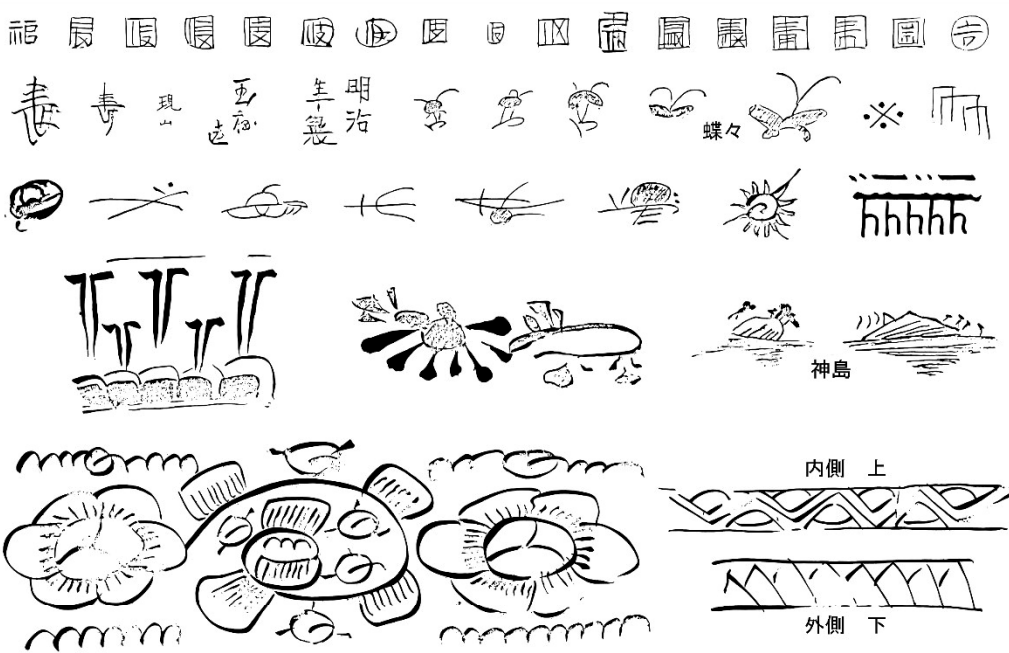
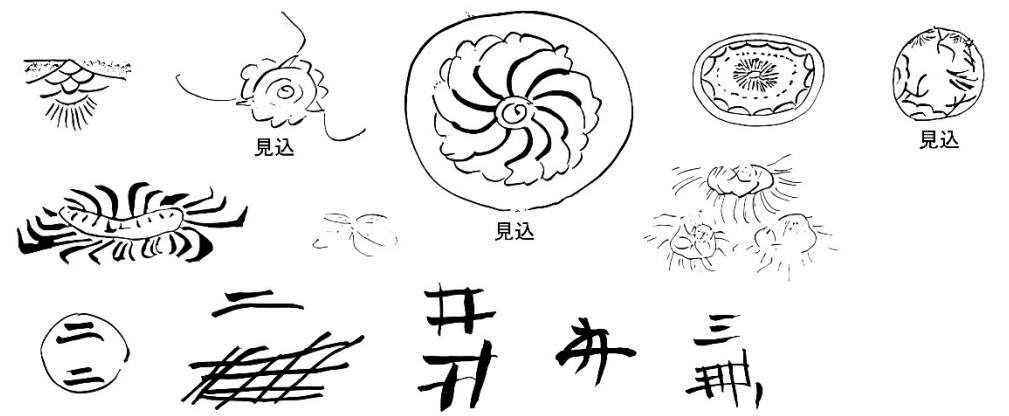
湯呑	
湯呑茶碗	
茶碗	
蓋付茶碗 (A ~ G) 上は蓋印 下は身印 (H) 蓋の表裏	
喰初茶碗	

図3 越中丸山焼の銘印・窯印・文様（3）

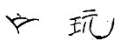
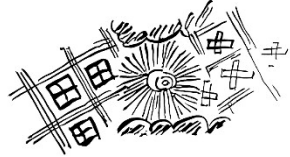
小鉢(くわんか)			
浅鉢			
深鉢(手水)			
鉢			
鉢・皿			
薬味入			
井鉢		油つぼ	
湯さまし			
筆立			

図4 越中丸山焼の銘印・窯印・文様(4)



図5 越中丸山焼窯資料の窯印・文様など

文献

尾山京三 2004 『富山県の陶磁器思考』(1)

富山市教育委員会 2018 『富山市内遺跡発掘調査報告書XIV
—今市遺跡 越中丸山焼陶窯跡』

